



令和6年度「ファミリーキャンプ」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和6年10月5日(土)～6日(日)

2 日程

10月5日(土)		10月6日(日)	
9:30	受付開始	7:00	起床・テント干し
10:00	出合いのつどい	7:30	朝食(食堂横)(カートンドッグ)
10:30	交流レクリエーション		テント片づけ
11:20	クラフト(災害に使える便利グッズ作り)	8:45	荷物移動
12:30	昼食(食堂食)	9:45	野外オリエンテーリング(防災クイズ)説明
13:40	オリエンテーション	10:00	活動スタート
14:00	移動・テント設営説明(つどいの広場)	11:30	帰所・答え合わせ
15:30	野外炊飯説明	12:00	昼食
16:00	野外炊飯(カレーライス+防災キャンプ飯)	13:00	感想記入
18:30	片づけ完了	13:30	別れのつどい・集合写真・解散
19:00	キャンプファイヤー&ミニコンサート		
20:10	入浴(30分×2ローテ)・就寝準備		
22:00	就寝(テント泊)		

3 趣旨

- アウトドアでの様々な活動をとおして、親子の絆を深めるとともに、自然の中で過ごす楽しさを味わう。
- 非常災害を想定し、日常からどんな備えが必要かを親子で考える。



4 応募者数 15家族 44人

5 参加者数 15家族 44人

6 参加費 3300円(食事代、活動費、保険料)



II 実施状況

■ 1日目の活動〈10月5日(土) 天候 晴れ〉

今年のファミリーキャンプは「防災」をテーマにして行った。まずは出合いのつどいで、家族ごとに簡単な紹介をしていただいた。初めて出会う家族同士ではあったが、ユーモアある紹介もあり、和やかな雰囲気



中でのファミリーキャンプがスタートした。

次の交流レクリエーションでも家族同士で関わるゲームを行い、参加者からたくさんの笑顔と歓声が聞こえた。

続いては野外炊飯で使う道具の製作である。今回は、非常災害時など、いざというときにちょっとした工夫で屋外調理に使える道具『空き缶五徳』『紙食器』『竹箸』『牛乳パックまな板』を作っていただいた。作成に少々時間がかかってしまい予定時間をオーバーしてしまったが、親子で楽しみながらの活動となった。

次にテント設営である。今年もつどいの広場でテントを張ることとなった。当初はテントサイトを予定していたが、直前にナラ枯れの木が見つかり、安全面に配慮しての変更となった。テントを張る位置はくじ引きで決定した。今回初めてテントを張るという方が多かったが、指導員の説明をしっかりと聞き、上手に設営することができていた。

全家庭のテント設営が終わり、お待ちかねの野外炊飯（カレーライスと防災キャンプ飯）となった。まずは、空き缶五徳を使ってお米炊き。ふっくらと美味しそうなお飯が炊き上がった。次に、五徳の上に網を乗せ、鮭のホイル焼き作り。こちらもバターと醤油だけのシンプルな味付けであったが、参加者から「おいしい!」と喜んでいただいた。

また、カレーライスのお皿は、普段の食器ではなく紙食器を使用したり、竹箸を使ったりすることによって、テーマである「防災」を意識できる野外炊飯となった。

夜はキャンプファイヤー。指導員がそれぞれのレクで場を温めたあと、いよいよ2名の職員による音楽ユニット「船上の風」の登場である。熱量たっぷりの演奏に、参加者も寒さを忘れて聞き入った。その後は入浴を済ませ、明日に備え消灯となった。

■ 2日目の活動 〈10月6日（日） 天候 晴れ〉

この日は7時起床であったが、多くの参加者が早めに起きて片付けを始めていた。湿ったテントを裏返したり、ブルーシートを干したりした後、食堂横に集合。朝食はカートンドッグであった。指導員が作り方を説明した後、それぞれ作業をしていただき、召し上がっていただいた。カートンドッグも初めて体験される方が多かった。

2日目の主な活動は野外オリエンテーリングである。今回は、参加者（家族ごとに1名）のスマートフォンに「NaviTabi」というアプリをインストールしていただき、家族で防災についてのクイズ（10問）を解いて回っていただいた。主催事業で初めて「NaviTabi」を使ったのだが、参加者には概ね好評であった。ゴールしたあと、答え合わせを行い成績上位者には船上山オリジナル缶バッジを贈呈した。

別れのつどいでは、各家族に一言ずつ感想を述べていただき、2日間通して天候に恵まれ、全日程を終えることができた。



Ⅲ 総括

1 参加者の感想(抜粋)

- ・初めてキャンプに参加しました。テーマが「防災」というのも良かったです。学びと体験どちらも大満足でした。いろいろな方と一緒に体験ができ、我が子にとっても、大人にもコミュニケーションの練習になったと思います。子どももすぐに仲良くなって、一緒に調理したり、遊んだり、また、お風呂も一人で入ることができました。こういう機会がないと、なかなかできなかつたと思います。テントの立て方も丁寧に教えてくださり、助かりました。
- ・野外での食事作りなど、初めての体験ばかりでした。今回こういった企画があり、ぜひ参加したいと思い応募しました。他の家族と交流でき、とても楽しませていただきました。カートンドックなど、庭でもできそうなキャンプ飯を学べたので、家に帰ってぜひ挑戦してみたいと思いました。
- ・初めて家族で参加したキャンプでしたが、子どもがとても喜んで参加できました。1日目の交流レクで参加者と距離が近づいて、その後の活動も楽しくできました。スタッフの方も子どもに優しく関わってくださって、先生方のことをとても気に入っていました。2日目のアプリのウォークラリーも、大はしゃぎで喜んでいました。また機会があれば参加したいです。夜が予想以上に寒かつたので、寝袋や毛布の貸し出しがあれば嬉しいです。2日間大変お世話になりました。

2 成果

- ・「防災」をテーマにしたファミリーキャンプであったが、身近なもの(百均などで購入できる)を使つてのキャンプ飯が大変好評であった。また、キャンプファイヤーでのコンサートも参加者に喜んでいただけた。
- ・テントを立てたり、テントで一晩過ごしたりするのは今回が初めてという方が多かつた。野外活動の楽しさを感じていただけたのではないか。
- ・オリエンテーリングでは「NaviTabi」というアプリを活用したが、楽しんで取り組んでいただくことができた。活動時間や問題数も簡単に調整できるので、今後も家族単位で参加者を募集する主催事業で活用したい。
- ・テント設営のレイアウトを工夫したことで、キャンプファイヤーの営火台をサイト中央に設置することができた。

3 課題

- ・当日は予想以上に夜の気温が下がった。事前に毛布の貸し出しなどを想定しておくべきであった。
- ・テントサイトがあるが、階段が急なため移動が大変。主催事業の時のみ、今後もつどいの広場にテントを張ってはどうか。
- ・毎年募集人数を大きく上回る事業だが、今年度は募集16組に対して参加家族が15組であった。参加者数が定員に達しなかつた原因の分析と次年度に向けての改善(開催時期、テーマ設定、活動計画、広報の仕方など)が必要。